

木田市長の



vol.45

会長就任にもプラス思考で

4月6日、市長二期目の当選が決まった次の日、森下伊勢市長がわたしの選挙事務所を訪れました。

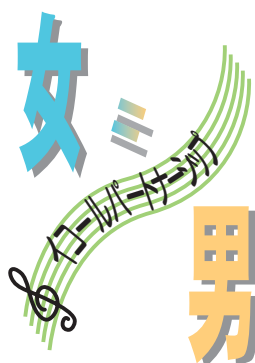
話の内容は、本年度の三重県市長会の会長を引き受けてほしいということでした。

この会長職については、三重県を北勢、中勢、南勢の3ブロックに分け、交代で会長に就任することになっており、本年は南勢ブロックの当番となっているものです。

南勢ブロックに所属している5つの市のうち、尾鷲、志摩は一期目の市長であり、伊勢、熊野は、本年度中に市長選が予定されているというところで、わたしに白羽の矢が立ったということでしょう。

しかし、今まで鳥羽市長が三重県市長会の会長を受けた例もなく、しかも本年は会長に就任すれば、東海4県の東海市市長会の会長、さらに全国市長会の副会長にも就かなければならないことなどから、伊勢市長に対し、一旦はお断りしようと考えていました。断りの方向であったわたしの意見を、後援会事務所では多くの後援会や市民のみなさんが聞いていました。そのうちの1人が突然「市長は選挙戦を通じて、プラス思考でやる、積極的に進むとやってきたのだから、当然、プラス思考で会長職を受けるべきだ」と言い出しました。わたしも「ああそうか。わたしは、今まで自分が言ってきたことと違う決断をしようとしていたのか」ということに気がきました。

また、周りのみなさんから「会長に就任して、鳥羽市の宣伝を大いにやってくれ。東国原知事を見習え」とも言われました。こんないきさつもあり、5月15日の東海市長会総会で正式に会長をお受けしました。三重県市長会の会長には、68の充て職があり、これも同時に受けることになるので、本年はますます忙しくなると思います。名古屋市や浜松市などの大きな市がたくさんある中で、小さな鳥羽市のわたしが会長に就くことについて、自分自身、少しは感じるところもあります。しかし、普段から言っているように、「小さくても真珠のように輝く鳥羽市」を目指している鳥羽市としては、ほかの市に比べて規模は小さくても、堂々と自信を持ってやれば良いと思います。この件に限らず、二期目の市政、すべてプラス思考で進みたいと考えています。



まちづくり達人塾

vol.96

市民課人権・生活係

☎1126

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」では、男女共同参画の視点で進めるまちづくりとして、「まちづくり達人塾」の講座を実施しています。

この講座では、市民のかたや行政の担当者など、さまざまな立場の視点から、女性も男性も元気に暮らせるまちづくりのプランを考えることを目的にしています。

昨年度のプランの一つ「トイレマップ作成」では、「子育てしやすいまち」はみんなが住みやすいまちとして、おむつ替えシートの有無などを明記したマップ作りを行い、まちの分析を深めたそうです。参加者からは、「協働で取り組むことの重要性がよく分かった」との声が寄せられました。「な

んだか難しい」と思われがちですが、男女共同参画の視点から見つめ直してみると、自分たちの身近な問題から、取り組んでいけるよい機会にもなると思います。

昨年度は、フレンテみえを会場に実施していましたが、今年度は鳥羽市・伊勢市・志摩市を拠点とし、実施する予定です。

鳥羽市を元気にするプロジェクトとして、みなさんの参加をお待ちしています。募集などくわしくは、後日、広報とばの紙面などでお知らせする予定です。

